



自衛隊栃木地方協力本部

新入隊員、地域事務所を訪問

～憧れを叶えた学生の凱旋、担当広報官との絆を深める～



事務所訪問



担当広報官との面談

8月8日(火)、自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所(所長 宅原2陸尉)に、令和5年3月に海上自衛隊佐世保教育隊へ教育入隊した熱海 彩乃2等海士が訪れた。熱海2土は現在第19期一般海曹候補生に教育入隊しており、夏季休暇を利用して小山地域事務所を訪れ、担当広報官の金子准陸尉へお世話になったお礼と教育隊での様子について報告してくれた。

熱海2海士は中学生時代に体験した、護衛艦「あしがら」の体験航海に感動を覚え、海上自衛官に憧れて入隊を決意したという。念願が叶いこの春、海上自衛官に合格し、佐世保教育隊を希望した。入隊後、教育隊では約5か月間の基礎教育を経て、今後は護衛艦の乗組員として整備教育を受けることになると話していた。また、熱海2海士は、教育隊での訓練や同期との営内生活について楽しそうに話すと、「教育では走ることが苦手なので体力練成はきつけれど、同期と一緒に頑張り続ける。これからは海曹、また幹部自衛官になれるよう努力します。憧れの海上自衛官になったこと担当広報官の金子准陸尉をはじめ小山地域事務所の皆さんに大変感謝しています」と話してくれた。

小山地域事務所は「今後も入隊後の隊員と連携を密にし、隊員、学校との信頼関係及び協力関係を強化し、募集基盤の拡充に邁進して行く」としている。

偶然の訪問からの支援！

～2日連続で広報官に協力な援軍がやってきた！！～



事務所の前で(井上学生)



所長に防大での様子を話す井上学生



偶然訪れた親子に防大の話をする井上学生

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所(所長 高井1陸尉)に、8月9日(木)は、防衛大学校2年・井上学生(那須烏山市出身)が、8月10日(金)は、高等工科大学校1年・渡引生徒(那須烏山市出身)が、帰省と近況報告を兼ねて訪れた。

担当した広報官(平井1空曹)は、凛々しく成長した姿に感動を覚えるとともに、今後も頑張ってもらいたいと激励をした。渡引生徒は、「親元を離れて、寂しいこともあるが、多くの仲間ができて、また、自分が決めた道であるので、頑張ります!」と話してくれた。

また、井上学生からは、「地元の後輩が欲しいんですよ。入校したらしっかりと面倒見ますから・・・募集大変だと思いますが、平井さん、頑張ってください!」と逆に激励される一幕もあった。

両日ともたまたま、事務所に説明を聞きに来訪した中学生・高校生家族があり、両学生は各学校の魅力を熱く語り、各学校の魅力をリアルに体感してもらうことができ、広報官の心強い援軍となった。

大田原地域事務所は、「今後も、入隊者に対しアフターフォローを継続していくとともに、体感型のリアルな広報で活動して行く」としている。



母校前で写真撮影(渡引生徒)



左から 平井1曹、渡引生徒、高井1尉



来訪した学生に高等工科大学校の話をする渡引生徒